

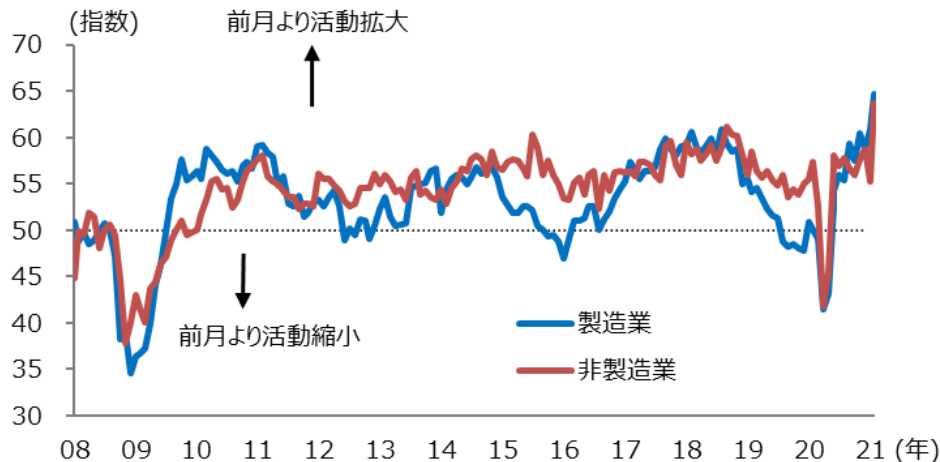
米国

ISM景況指数（2021年3月）

企業の景況感は良好、米国経済の底堅い回復を示唆

政策・経済センター
田中高大
03-6858-2717

1 総合指数



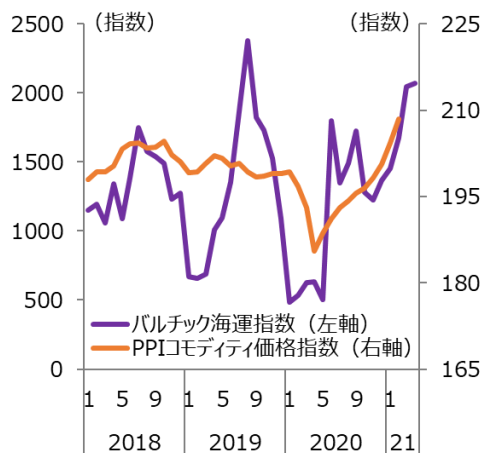
注：新規受注・生産等の項目について、前月と比べ「改善している・変化なし・悪化している」の3択で行った企業アンケート結果を加重平均して算出。50以上が活動拡大を示す。出所：Institute for Supply Management® (ismworld.org)

2 入荷遅延指数（製造業）



出所：Institute for Supply Management® (ismworld.org)

3 原材料・輸送コスト



出所：Bloomberg、米国労働省

評価ポイント

今回の結果

- 21年3月のISM製造業景況指数（4/1公表）は64.7と、前月から上昇し、83年以来の高い水準となった。
- 製造業指数を構成する項目別では、新規受注（68.0）、生産（68.1）、雇用（59.6）、入荷遅延（76.6）、在庫（50.8）の5項目全てで上昇した。サブ項目である輸出（57.2）も上昇した。業種別では、「前月から変化なし」と報告した木材製品を除く、17業種が活動拡大を報告した。
- 21年3月のISM非製造業景況指数（3/5公表）は63.7と、前月から大きく上昇し、統計が開始された97年以降で最高値となった。
- 非製造業指数を構成する項目別では、ビジネス活動（69.4）と新規受注（67.2）、雇用（57.2）、入荷水準（61.0）の4項目全てで上昇した。業種別では、18業種全てが活動拡大を報告した。

基調判断と今後の流れ

- 米国企業の景況感は良好であり、米国経済の底堅い回復を示唆している。
- 先行きも、米国企業は良好な景況感を維持すると見込む。3月に実施された一人最大1,400ドルの現金給付に加え、ワクチン普及による活動抑制の緩和にともない、製造業だけでなく、未だ大きな影響を受けている宿泊・飲食や芸術・娯楽サービスなどでも回復が期待できよう。
- 先行きのリスクとしては、サプライチェーンの混乱や原材料・輸送価格の高騰（図表2,3）が引き続き制約となり得る。企業担当者のコメントでも供給制約を懸念する声が多く見られた。中でも世界的な半導体不足によって、自動車や電子機器など幅広い業界が大きな影響を受ける可能性がある。
- そのほか、①景気急回復を受けFRBによる金融引き締めが早期化することに加え、②バイデン大統領が新たに提示した法人税の引き上げ案（21%→28%）がリスク要因として挙げられる。